

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

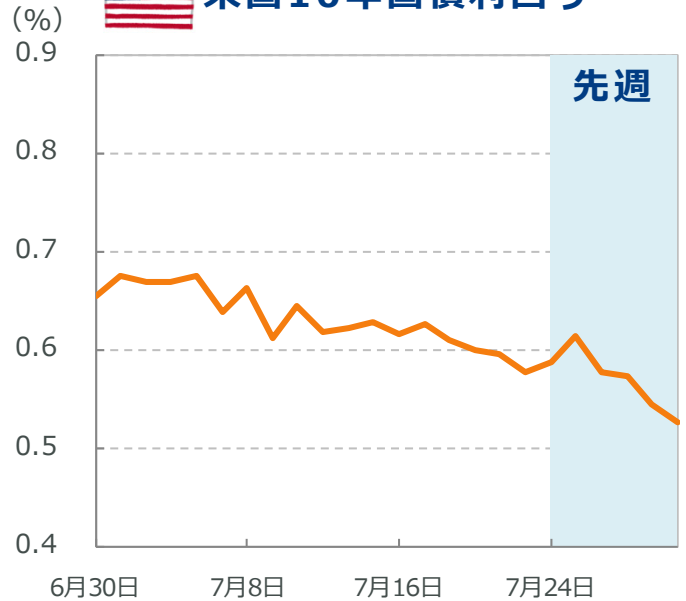
POINT 先進国国債利回り

【2020年7月27日～2020年7月31日】

米GDPマイナスから利回りは低下

- ◆米国の4-6月期実質国内総生産（GDP）速報値が過去最悪のマイナス成長となったことや、新規失業保険申請件数が増加したことなどから、米国10年国債利回りは低下しました。
- ◆米連邦公開市場委員会（FOMC）は現状の金融政策を維持すると決定し、利上げの可能性を否定したことも、米国10年国債利回り低下の一因となりました。

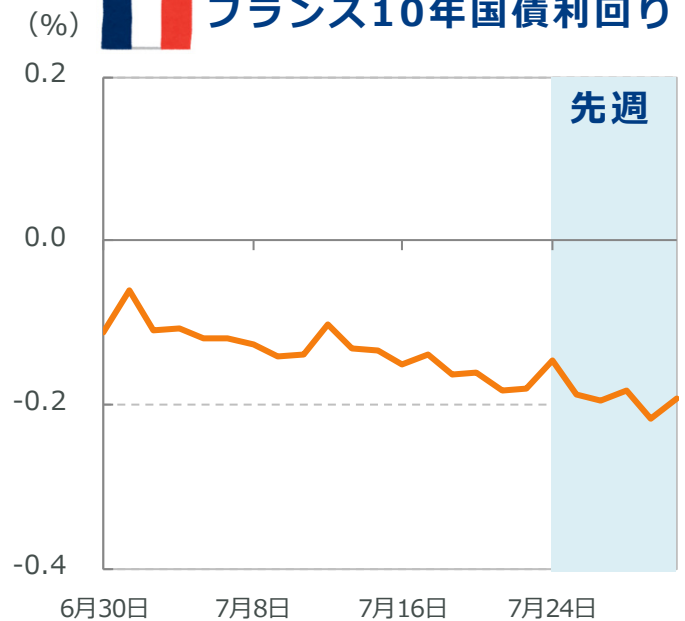
🇺🇸 米国10年国債利回り



🇯🇵 日本10年国債利回り



🇫🇷 フランス10年国債利回り



(注) データは2020年6月30日から2020年7月31日（日次）。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ちょこつとマーケット

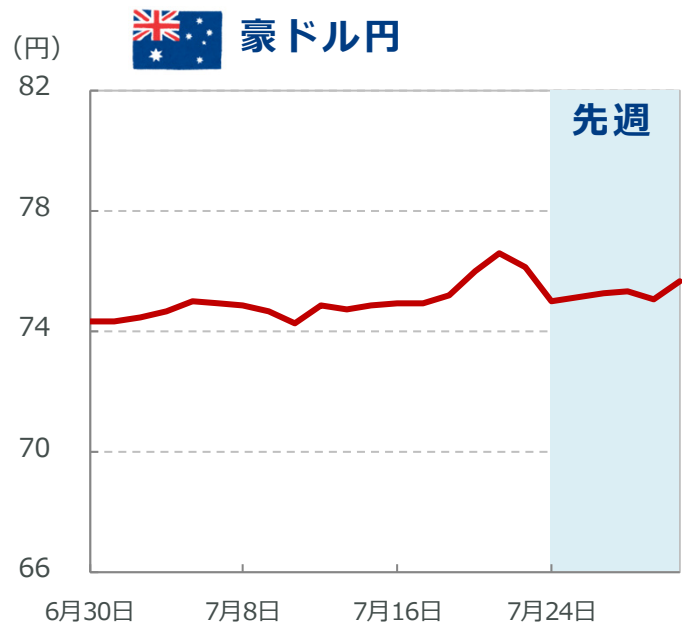
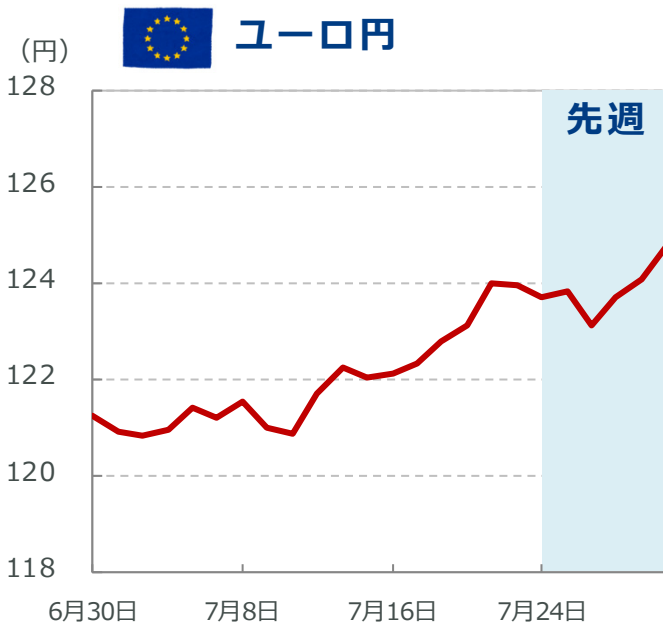
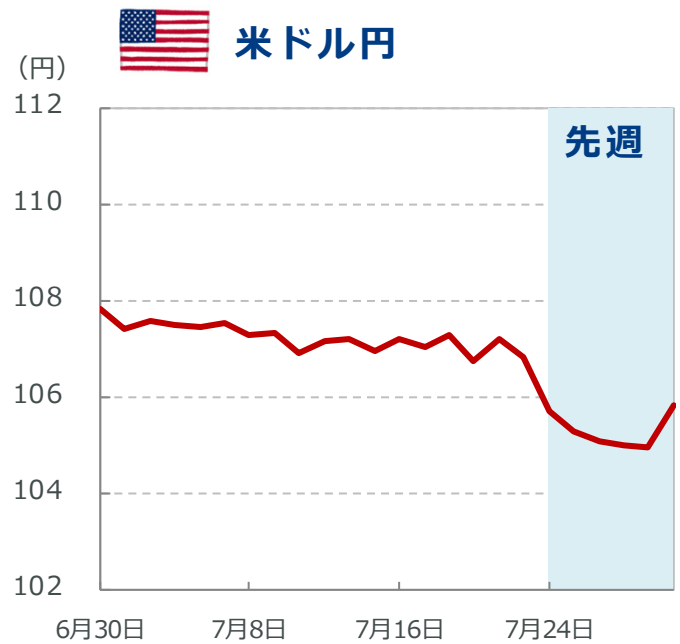
(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

【2020年7月27日～2020年7月31日】

ユーロは主要通貨に対し上昇

- ◆米国の経済指標の落ち込みが嫌気されたことなどから、円は米ドルに対して一時4か月半ぶりの高値を付けました。週後半には持ち高調整を目的とした円売りが広がったことから、米ドルは値を戻しました。
- ◆欧州連合（EU）が「復興基金」の創設を発表したことや、米ドルの下落を背景にユーロは上昇し、対円では約1年3か月ぶりの高値圏まで上昇しました。



(注) データは2020年6月30日から2020年7月31日（日次）。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。